

CityView!



「CityView!」では、市のイベントや地域的话题を、皆さんにお届けします。
掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>

学力と成長に 力を注ぐ

志小田教育長が退任

後任に相沢氏

小中連携などの取組継承

志小田美弘教育長が5月20日に退任しました。令和元年から2期6年にわたって教育行政に尽力。新型コロナウイルスという未知の感染症が広がる中でも子どもたちの教育を守ろうと知恵を絞り、地域の将来を担う子どもたちの学力保障と成長保障に力を注いできました。退任式では、多くの職員に見送られながら市役所を後にしました。今後は「一市民として教育に関われば」と話していました。また、後任には学校教育管理監や矢本東小学校校長を務めた相沢進氏あいぞめしんが就き、教育委員会委員に鹿野あい子氏を再任しました。



▲相沢新教育長が就任



▲鹿野氏を再任



▲市内各小中学校長も退任式に出席



▲職員で見送り、花束が贈られました



▲任期中の教育行政を回顧



▲息の合った規律訓練

▶ポンプ車からの送水を実戦形式で訓練

東松島市消防団

市消防団の春季講習会を東松島消防署で開催しました。規律訓練やポンプ車の運用について座学や実技を踏まえて訓練し、有事に備えた技術力向上を図りました。同講習会は昨年12月に策定した「消防団改善計画」に基づき、各分団毎に計5日間開催され、今後とも年3回に分けて継続して講習を行います。(5月25日)

有事に備え対応力底上げ

初の津波避難タワー活用で 共助確認



▲災害対策本部の運用訓練



総合防災訓練 市民ら1万人有事へ備え

市と市自主防災組織連絡協議会は、大津波を想定した本年度の市総合防災訓練を市内各所で行いました。市民や関係機関の担当者ら約1万人が参加し、地区ごとに避難所の運営などで共助を実践。3月に完成した津波避難タワーを使用した初めての訓練であり、スロープを使った車いす利用者ら避難困難者の移動手順も確認しました。(6月15日)



▲野蒜まちづくり協議会(5月28日、市役所)

▲鳴瀬未来中学生会執行部(5月14日、市役所)

一日も早く 日常生活の回復へ

市内から隣県へ善意集まる

岩手県大船渡市内での山火事被害を受け、市内各々から災害義援金为本市に寄せられています。鳴瀬未来中では、同校生徒会執行部が募金活動を企画。3月17日から21日まで昇降口で在校生らに協力を仰ぎ、3万1,952円が集まりました。一方、野蒜まちづくり協議会も役員会で大船渡への義援金を集め、本市に託しました。東日本大震災からようやくの復興を果たした矢先の大規模な災害に、「一日も早く日常を取り戻してほしい」と思いを寄せていました。

私たちの健康は 私たちの手で



東松島市食生活改善推進員会総会

東松島市食生活改善推進員会の定期総会が開かれました。昨年度は市内小学校での食育活動、デジタル化した食育の情報発信など創意工夫した活動を展開。今年度も引き続き、幅広い世代に食生活改善と健康づくり活動を促します。総会後には、明治安田生命保険相互会社の方々が市との連携協定に基づく支援としてフレイルの講話を受講。実技を交えて楽しく学びました。(5月21日、市役所)



市内4人目の 集落支援員

大曲地域担当 木村さん

本市は市内4人目となる「市集落支援員」として大曲地域に暮らす木村久義さん(70)を任命し、委嘱状を交付しました。今後は市民センターを活動拠点に大曲のまちづくり協議会事務局員として地域行事の運営、企画に携わり、地域の活性化をサポートしていきます。(5月1日、市役所)

成澤孝志氏(元鳴瀬町長)が 高齢者叙勲 旭日単光章



受章おめでとうございます

元鳴瀬町長の成澤孝志氏(小野・写真右)が、米寿を迎えられ「高齢者叙勲 旭日単光章」を受章されました。6月2日には、渥美市長から勲記の伝達があり、旧町の町勢発展と新市合併の礎を築かれた成澤元町長のご功績に感謝の意を述べました。



▲瀧健一さんに礼遇証書が手渡されました

市は、市議会議員を3期以上務めて引退した5人を礼遇者に推したいしました。市役所内での推たい式には、旧鳴瀬町議会議員と合わせて53年1か月議員活動に尽くした瀧健一さん(82、小野)が出席し、渥美市長から礼遇証書を受け取りました。(6月2日、市役所)



▲瀧 健一氏
(議員在職年数53年1か月)



▲阿部 としゑ氏
(議員在職年数21年8か月)



▲阿部 勝徳氏
(議員在職年数20年)



▲熊谷 昌崇氏
(議員在職年数20年)



▲小野 恵章氏
(議員在職年数16年)

長年 地域課題と 向き合う 礼遇者に推したい

元気いっぱい 競争！共闘！

▼元気いっぱい全力疾走(宮野森小)



宮野森小学校



矢本第二中学校

▲2年生による白熱の綱引きが繰り広げられました(矢本二中)

市内小中学校で運動会

市内の小中学校で運動会が開かれました。宮野森小学校では、学年ごとの徒競走が盛り上がりを見せ、保護者や地域の方々からも大きな声援が送られました。矢本第二中学校では生徒たちが綱引きなどで共闘。心ひとつに好成績を収めようと気持ちのよい汗を流していました。(5月10～24日、各校)



子どもたちの 安心安全へ

東松島市建設業協会青年部

市建設業協会青年部は、鳴瀬未来中学校敷地内で除草や伐採を行うボランティア活動を行いました。10社15人が草刈り機で校庭や通路周辺の雑草を取り除き、安全な環境づくりに貢献しました。

(5月23日)

小野さん、邊見さんが市長訪問



矢本第一中学校 県代表で活躍報告

県代表の選手として野球、ソフトボールの各種大会に参加した矢本第一中学校野球部の小野叶夢さん(3年)とソフトボール部の邊見愛花さん(3年)の2人が渥美市長を表敬訪問しました。全国レベルの選手たちと切磋琢磨した貴重な経験を市長に報告し、成長を誓いました。(5月12日、市役所)

クロマツで緑の森に 任意団体「きずなの輪」野蒜で植樹



東日本大震災直後から、沿岸被災地で復興支援を行う任意団体「きずなの輪」(大阪市)が、野蒜地区でクロマツの植樹を行いました。地域住民ら約30人が参加。同地区での植樹は、震災の津波で一変したまちを緑の森にしようと令和4年から始まり、これまでに計820本を植えました。松枯れに強い品種であり、これまでに植えたクロマツもすくすく大きくなっているそうです。(5月11日)